

2007. 7

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

Vol.26

HIOKI JOURNAL JULY.2007

こ お な

主な記事

- 特集：運動は健康へとつながる第一歩2
- シリーズ①：男女共同参画社会をめざして6
- 「限度額適用・標準負担額減額認定証」について8
- まちの話題9
- 市民の広場18



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,615人(△34)
男 24,590人(△6)
女 28,025人(△28)
世帯数 22,373 (9)
7月1日現在()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



おいしいお米になあれ!
日新小学校の田植え行事。児童は苗の株分けに戸惑いながらも裾や袖を捲くり上げ、一本ずつ丁寧に植えていきました。
(6/22 日新小学校田植え P12 関連記事)

No.26 平成19年7月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899-2592
日置市伊集院町第一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所
TEL 099 (274) 2111
日吉支所
TEL 099 (292) 2111
吹上支所
TEL 099 (296) 2111
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

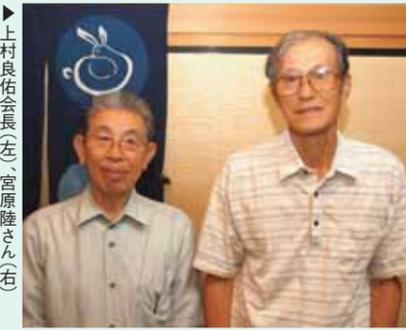


わが地域

伊集院地域のほぼ中心に位置し、伊集院地区公民館を形成する自治会のひとつ天神馬場。伊集院小学校や伊集院中学校が近いので、地域に住む子どもたちも多く、七月一日現在で三百五十四世帯、千二百二十二人が暮らしています。現在、地域で通学児童の安全を守るスクールガードや、今年七月から第二・四日曜日に公民館を開放して、住民交流を目的とした物品販売の活動も行っています。



▶コミュニティバス運行開始



▶上村良佑会長(左)、宮原陸さん(右)

天神馬場自治会(伊集院地域)
「住んでよかった」と思われる地域に

昔 からの天神集落と開発された八久保団地、ひまわり台団地から成り立つ天神馬場自治会。以前と比べると世帯、人口は大幅に増えました。また最近では、ニュー八久保団地もでき、現在も人口は増えつつあります。昨年八月一日、地域内を通るコミュニティバスが運行開始。一日五往復するこのバスは地域住民の重要な交通手段として利用されています。

自 治会副会長。この地域は世帯、人口ともに多く、自治会長だけでは十分な把握が難しいため、八久保団地の南北、ひまわり台、天神集落に一人ずつ計四人に副会長を務めてもらっています。

組 織は、体育部、育成部、子ども会、友遊会(高齢者クラブ)の四つ。中でも高齢者クラブ友遊会の活動が活発です。

毎 年五月に開催する自治会運動会では、これまでの会場の伊集院中学校グラウンドから、昨年伊集院小学校グラウンドに場所を変更して開催。昨年から新種目、パン食い競争と綱引きを加え、住民も老若男女問わず参加し、例年以上に盛り上がりました。

七 月は天神堂六月灯。学問の神とする天神様をお参りして、健康づくり教室や年四回の誕生会、花壇づくりなど様々な活動に取り組んでいます。週三回の練習をするほどグラウンドゴルフが盛んで、年間を通して各種大会に参加。友遊会会長杯は毎年、県内の様々な場所で開催されています。



▶子どもたちにぎわう天神堂

今 年度から就任した上村自治会長。「まとまりある地域です。行事への協力など、積極的な住民参加があるのもこれまでの先輩方のご尽力の賜物。これからもこの伝統を継承し、住民から「ここに住んでよかった」と思われるような活動に取り組んでいきたい」



運動は健康へとつながる第一歩

「チェスト伊集院」



ウォーキング
ジョギング
教室

運動の継続には 施設と環境が必要

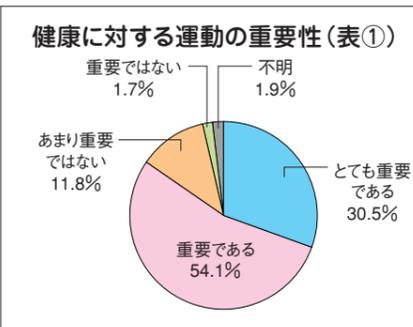
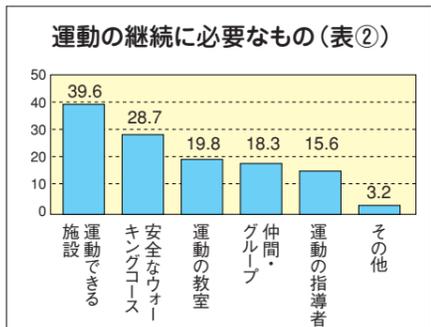
市では、「健康増進計画」（元気な市民づくり運動）を策定するための基礎資料とすることを目的に昨年十月、市健康実態調査を実施。市内に居住されている二十歳から七十四歳の方四千四百四十六人を対象に調査票を配布し、三千六百九人の方から回答をいただいた中で、運動が健康にとってどのくらい重要なかの質問「健康に対する運動の重要性」（表①）では、「とても重要である」と回答した人が三〇・五％、「重要である」と回答した人が五四・一％と、八割以上の方が重要だと回答しています。また、運動を続けていくために必要なものの質問「運動の継続に必要なもの」（表②）では、「運動できる施設」（三九・六％）、「安全なウォーキングコース」（二八・

健康でいきいきとした生活を送るために運動は大変重要です。しかし、現代社会では学校を卒業したり、企業を退職したりすると、スポーツに親しむ機会が激減する傾向があり、また、学校や企業以外の地域や職場を中心とした競技クラブ・サークルなどでも、性別、年齢、活動種目が限定されている

などだれもが参加できるとはいえない状況にあります。こうした状況を改善し、生涯にわたってスポーツに親しめる社会を実現するため、子どもから大人まで幅広い年代のスポーツ愛好家が身近な地域でそれぞれの興味や目的に応じて参加できる環境が求められています。

総合参加型 スポーツクラブの設立

誰もが楽しく運動できる環境を求める気運が高まる中、今年四月にスポーツクラブ「チェスト伊集院」が設立されました。このクラブは、誰もが参加できる総合参加型スポーツクラブ。すべてのスポーツの基本である歩くことや走ることを中心とした足腰の鍛錬と有酸素運動を取り入れたスポーツ教室を開講し、市民の健康づくりやいきいきづくりの推進を図っています。



同クラブは、一般の方ならどなたでも入会できます。年会費（表③）と各教室の受講料が必要になりますが、伊集院町陸上スポーツ少年団や地域内の競技部の指導者、市の体育指導員、また、各種インストラクター資格を持った指導者が楽しくわかりやすく指導しています。

クラブでの活動と 運動の効果

■病気やケガをしにくい身体をつくる

陸上を基本とした教室で、足腰を鍛え、有酸素運動を行うことで病気やケガに負けない身体をつくることができます。

■運動を通じてふれあう
開講された教室で子どもから大人まで一緒にスポーツを楽しむ、参加者同士がふれあうことで世代間交流を図り、楽しみながら運動することができます。

■種目を選んで楽しむ
クラブでは様々な種目の教室が開講されます。参加者は自分の興味や目的に応じて、やって

みたい種目をいくつでも選んで楽しむことができます。

■新たな種目やイベントを開く
参加者のアイデアで種目内容を考えたり、各イベントを開いたりすることができます。

定期的、継続的な運動は、メタボリックシンドロームや生活習慣病を予防する身体的な効果だけでなく、心をリフレッシュさせる精神的な効果もあります。この機会にコミュニティスポーツクラブで仲間とともに楽しく身体を動かしてみませんか？

interview

インタビュー



「チェスト伊集院」
クラブマネージャー
船倉 祥子 さん

運動を通して、健康でいきいきとした生活を支援

このクラブが活動を始めて約三ヶ月。クラブの運営や会員の皆さんの相談役などの仕事をさせていただいています。

私の一番の役割は「運動が私たちの身体にとっていかに大切か」という事を、一人でも多くの人にわかってもらう事にあります。会員の皆さんから「皆と集い、身体を動かして、今日もここに来てよかった」と喜んで

もらせることが一番嬉しいです。指導者の方もほとんどボランティア同然で指導していただいています。クラブの設立にあたり、困難な点も多々ありましたが、周りの皆さんの励ましや支援のおかげで現在活動できていることに感謝しています。

皆さんも「いつまでも元気に動ける身体」をつくるために第一歩を踏み出してみませんか？

interview

インタビュー



「チェスト伊集院」
鶴園 秋男 会長

一人でも多くの人にスポーツを楽しんでもらいたい

運動する機会が少ない現代、定年をむかえた人や子どもを持つ親、高齢者などの多くの人々に、運動に興味を持ってもらうと設立した「チェスト伊集院」。

平成十七年から設立準備委員会・運営委員会を立ち上げ協議を行ってきました。当初は「参加者が集まってくれるだろうか」と不安もありましたが、教室には

たくさんの方が参加。私が指導者を務めるグラウンドゴルフ教室でも、参加者全員がわいわい楽しみながら身体を動かしています。まだ始まったばかりのコミュニティスポーツクラブですが、これからは伊集院地域だけでなく市全体に活動を広げ、一人でも多くの人にスポーツを楽しんでもらいたいと思っています。

年会費 (表③)

会員の区分		年会費および登録料
個人	高校生以下、65歳以上および障害者	1人あたり3,000円
	一般（上記以外の個人）	1人あたり5,000円
※ファミリー会員 （世帯を同じくしている人であれば、人数は問いません）		上記金額から 1人あたり1,000円割引

(注) 1 会費には、保険料（高校生以上1,500円、中学生以下500円）および受講料は含まれません。
2 10月～2月に加入する場合は、上記金額から1人あたり1,000円割引いたします。

申込方法

- ・「入会申込書」に必要事項を記入の上、年会費、スポーツ安全保険料、受講料を添えて提出してください。
- ・入会申込は年間を通して随時受け付けています。
- ・受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

お問い合わせ先

コミュニティスポーツクラブ「チェスト伊集院」
伊集院総合体育館内事務局
TEL 273-11033
FAX 273-11040

卓球教室



場所 伊集院総合体育館
日時 毎週木曜日 19:30~21:30
受講料 月額500円

MEMO 初心者の方でも基礎から楽しく学べます。



原口 徹也さん
(伊集院町大田)

卓球の経験があり、社会人クラブにも所属していましたが、友人の誘いでこの教室に参加するようになりました。体力づくりや気分転換にと始めた教室には今まで知らなかった人達が集まりますが、皆と一緒に楽しく汗を流すことですぐに仲良くなりました。交流で自分の視野が広がることもこの教室のいい点です。



写真左 木下 錦子さん
(伊集院町猪鹿倉)
 写真右 原口 景子さん
(伊集院町妙円寺)

健康づくりが目的で教室に参加するようになり、今では教室の仲間と楽しく活動しています。皆で和気あいあいと楽しくスポーツできるところがいいですね。これからはグランドゴルフだけでなく、いろんな種目の教室にもチャレンジしてみたいです。



場所 伊集院総合運動公園 (陸上競技場・グラウンドゴルフ場)
日時 第2・4木曜日 15:00~17:00
受講料 月額100円

MEMO 初心者の方でも基礎から楽しく学べます。

グラウンドゴルフ教室



場所 伊集院武道館
日時 毎週月曜日 10:00~11:30
受講料 月額500円

MEMO ストレッチやダンスを取り入れた運動をします。高齢者の方でも気軽に参加できます。

ストレッチ・リズム体操教室



上原 久美子さん
(伊集院町下谷口)

4月に転入してきました。教室に参加するようになってから知り合った人たちと和気あいあいと楽しく活動しています。いつも笑いの絶えないこの教室で楽しくわかりやすく身体の動かし方を教わり、家でもストレッチなどをするようになりました。運動をすると身体が軽く気分もスッキリ。私の健康づくりに役立っています。

それぞれの興味や目的に合わせて地域でスポーツを楽しむ

現在開講しているスポーツ教室

健康でいきいきとした生活を送るためには、日常生活の中で運動を定期的、継続的に行うことが必要です。

現在、「 chests伊集院」では8種目の教室を開講しています。今回は7月に開講したばかりのバドミントン教室を除く7教室を紹介します。

また、これからの夏休み期間(7・8月)には水泳教室・バスケットボール教室・創作ダンス教室も開催され、創作ダンス教室では老人ホームなどの施設慰問等を考えています。この他にもテーピング講習会・栄養講習会などいろいろなイベント等も予定しています。



場所 伊集院総合運動公園 (陸上競技場)
日時 毎週土曜日 15:00~17:00
受講料 月額500円

MEMO 走ることを基本とした足腰の鍛錬や有酸素運動ができます。

陸上教室



浦牛原 眞一さん
悦子さん
(伊集院町妙円寺)

伊集院町陸上スポーツ少年団の保護者という繋がりもあり受講するようになりました。今までは一人でウォーキングなどをしていましたが、教室に参加するようになってから皆と一緒に運動する楽しさに気付くことができました。「同じ運動するのなら楽しく」をモットーに夫婦で参加。これからも楽しく運動できたらいいですね。



山下 昌治さん
(伊集院町徳重)

76歳。少しでも身体を動かして健康づくりに役立てようという思いから教室に参加。スポーツは苦手な方でソフトテニスも初心者でしたが、指導者や会員からわかりやすく教えてもらい、楽しく活動しています。高齢だからといって家にこもらず、外に出て身体を動かすことは、健康にとってとても大切なことだと思います。



場所 伊集院総合運動公園 (テニスコート)
日時 毎週土曜日または日曜日 13:00~16:00
受講料 月額500円

MEMO さわやかな汗を流し、心も身体もリフレッシュ。

ソフトテニス教室



場所 伊集院武道館
日時 毎週木曜日 10:00~11:00
受講料 月額500円

MEMO 音楽に合わせて楽しく身体を動かすことができます。

エアロビクス教室



福永 味母さん
(伊集院町下谷口)

以前からエアロビクスに興味がありながら、身近に教室がありませんでした。この教室では興味を持った人が集まるので、今まで知らなかった人とも知り合え、子どもから大人まで皆で楽しく身体を動かすことができます。また、インストラクター資格を持った指導者に教えてもらえるのがいいですね。



柿内 タエ子さん
(伊集院町下谷口)

今まで独学でジョギングなどの運動をしてきましたが、3月の体験教室参加がきっかけでこの教室に参加するようになりました。この教室では体力づくりや仲間づくりができ、何より指導者に正しい運動法を教えられることがいいです。走るのが大好きなので、これからも運動を継続していけるようにしていきたいです。



場所 伊集院総合運動公園
日時 毎週水曜日 10:00~11:30
受講料 月額500円

MEMO 自然を満喫しながらジョギングウォーキング。正しいフォームや運動法も学べます。

ウォーキングジョギング教室

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」。
その実現のためには、政府や地方公共団体だけでなく、国民一人ひとりの取り組みが必要です。
私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみましょう。

男女共同参画社会とは

すべての人々が、その人権を尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分発揮できる社会であり、男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会です。

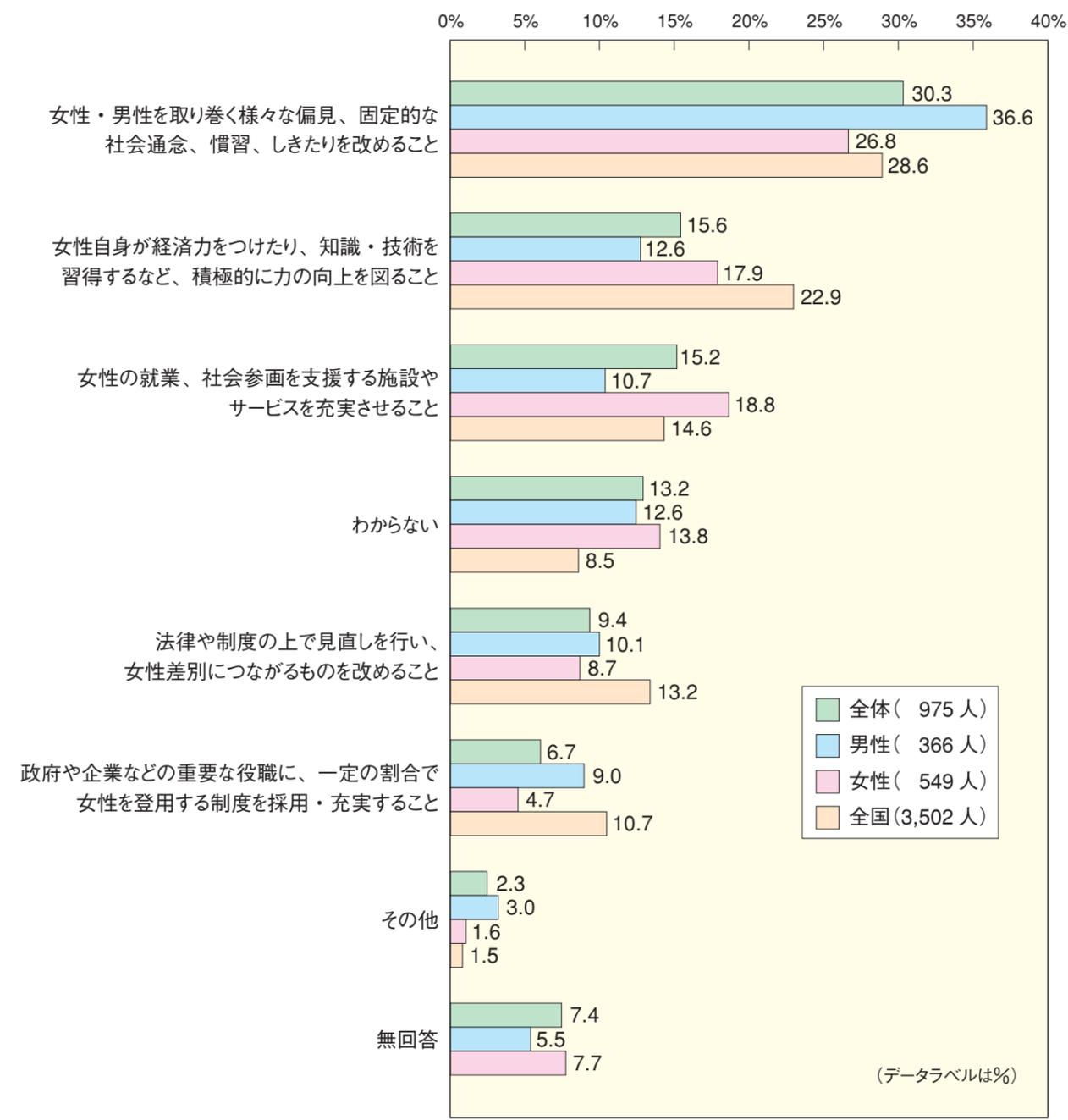
男女共同参画社会の形成は、男女平等を実現するとともに、少子高齢化の進展、社会経済活動の成熟化等の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、緊急かつ重要な課題となっています。そのため、国や地方公共団体、国民が男女共同参画社会の形成に関する取り組みを総合

男女共同参画に関する市民意識調査を実施

市では、市民の男女共同参画に対する意識や現状を把握し、「日置市男女共同参画基本計画」策定に活用するなど、今後の本市男女共同参画に関する施策を検討するための基礎資料として、昨年十一月から十二月に住民基本台帳により無作為に抽出した市内の二十歳以上の男女二千人を対象に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。今回からその結果についてシリーズで紹介し、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

的かつ計画的に推進するため、国では「男女共同参画社会基本法」(平成十二年六月施行)が、県では「鹿児島県男女共同参画推進条例」(平成十四年一月施行)が制定されました。

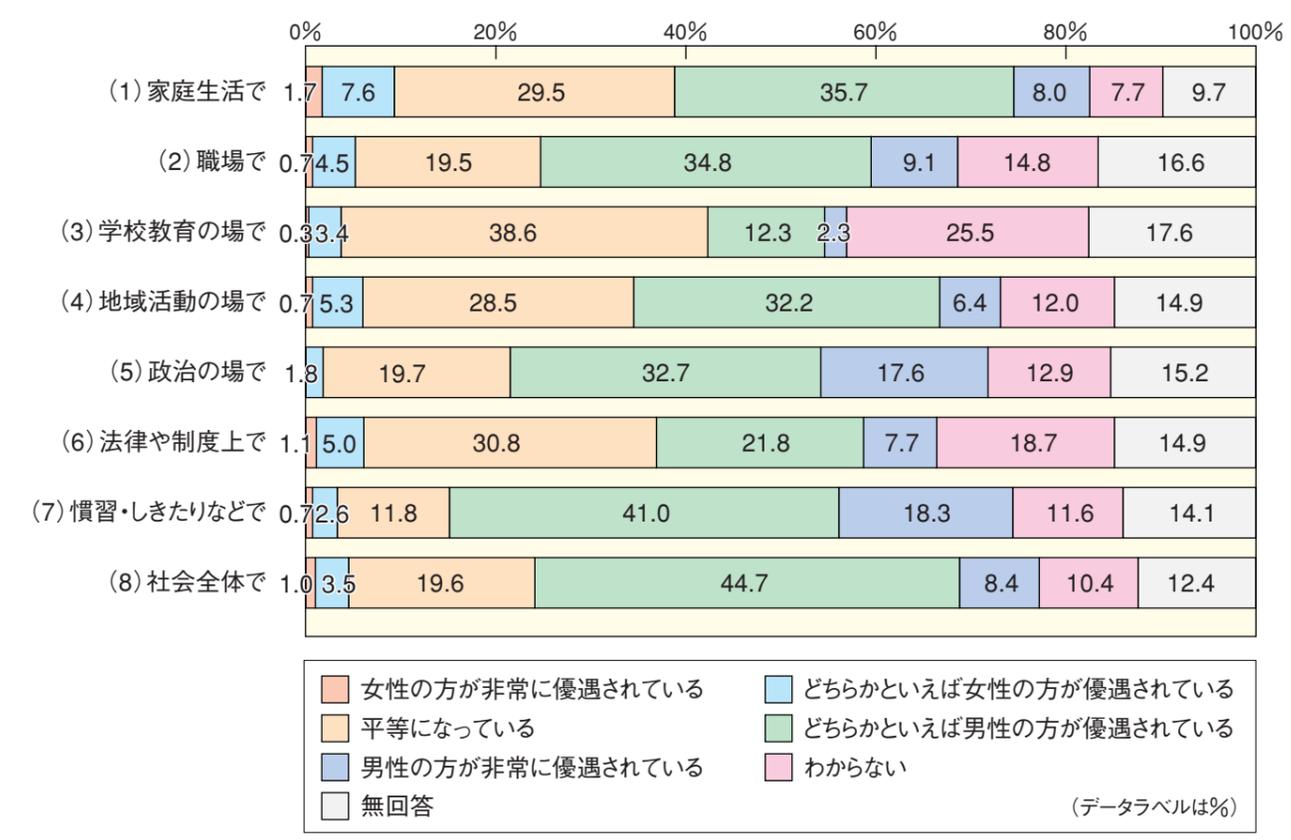
今後、社会のあらゆる分野で、男女が不平等を感じないようにするために最も重要なこと



※ 資料：全国「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成16年11月)

- ◆全体、男女とも「女性・男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が最も高い割合となっています。また、全国においても一番高くなっています。
- ◆男女別でみると、女性では「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」(17.9%)、「女性の就業、社会参画を支援する施設やサービスを充実させること」(18.8%)の割合が高くなっています。また、「政府や企業などの重要な役職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」を比べると、男性(9%)のほうが女性(4.7%)より高くなっています。

男女の地位について



それぞれの分野について男女の地位はどの程度平等になっているか聞いたところ、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が、「学校教育の場で」と「法律や制度上で」を除いて、すべて「平等」を上回るなど、広い分野で不平等感がみられます。特に、「政治の場で」「慣習・しきたりなどで」「社会全体で」の割合が高く不平等感が強くなっています。

はなしようぶ満開

六月上旬、養母地区田代（東市来）の東福亭（とおる）さん宅前にて、数種類の「はなしようぶ」が満開を迎えました。サトイモ科の「はなしようぶ」は、花びらの基のところが黄色で、開花期は五月下旬から六月にかけて。区別の難しい「あやめ」は網目状で、五月上旬に咲く。

東福亭さんが、「草が生え荒らすよりは」と六年ほど前から花を植え始め、少しずつ増やしてきた場所を「重平瑞泉郷」と名付けています。

庭木に名札を下げたり、自宅裏山に果樹を増やしたり、散策出来るようになっていました。

重平瑞泉郷



はなしようぶ満開

六月下旬、上市来郵便局（東市来）前の県道から車で数分入ると、あじさいが沿道約五百メートルを彩っていました。

これは、「手作り工房ふみ」を営む久保文男さんが五年前から植栽しているもので種類も十種類以上。久保さんは、六月生まれであじさい好きの奥さんを喜ばせたいと始め、「さらに植栽を進め、人々の憩うあじさい園にしたい」と話していました。

やさしさを栄養に育った色とりどりのあじさいは、訪れた人々の目を楽しませていました。

養母地区市道で満開

やさしさを栄養に育った色とりどりのあじさい



宮内鎌手踊り保存会（鳥越満寿夫会長）のお田植踊りが六月十七日、大汝牟遅神社に奉納されました。

お田植踊りは五穀豊穡を願うもので、二年に一度奉納。鎌やなぎなたを持った踊り子二十人が、唄と地突きの竹に合わせて威勢よく掛け合い踊ります。小学生の踊り子は慣れないわりに戸惑いながらも、中高

お田植踊り奉納

りりしく勇壮に豊作祈願

生に負けまいとりりしく舞い、境内をうめた観衆から拍手が送られました。

また、下与倉刀踊りも奉納。女性三人を含む八人の踊り子が、笠のシベを振り乱しながら勇壮に踊りました。

この日は朝から雨模様。その雨も奉納時間には止み「今年もよか米がでくっど」と声がかかりました。

「かごしまよかところ」にも選定

正円池ホテイアオイ



新かごしま百景に選ばれている正円池のホテイアオイが、今年も水面を埋め、県内外から訪れた人々を魅了しました。

梅雨空に映える薄紫色の花が咲き誇り、池であることを忘れさせます。浮き草のため、風に

流され、水面は刻々と風景を変えていきます。

正円池は今年、県が選定する「かごしまよかところ」にも選ばれました。

ホテイアオイは、九月にもその可憐な花を咲かせます。

老人保健の

「限度額適用・標準負担額減額認定証」について

低所得者の入院にかかる自己負担限度額及び食事の減額の適用を受けるためには、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受ける必要があります。

【減額認定証の対象者】

低所得Ⅱ …世帯主および世帯全員が住民税非課税の人

低所得Ⅰ …世帯主および世帯全員が住民税非課税で、かつ各種収入等から必要経費・控除（年金の所得は控除額を80万円として計算）を差し引いた所得が0円となる世帯に属する人。

※ 限度額認定証が必要な方は、8月1日から申請できます。

■申請に必要なもの

- 健康保険証
- 医療受給者証
- 印鑑（認め印で可）

老人医療の対象になる人は、昭和7年9月30日以前に生まれた人と、65歳以上で一定以上の障害のある人です。（白色の老人医療受給者証をお持ちの方）

※ 低所得Ⅱに該当する方で、平成18年8月以降に91日以上入院をしているときは、領収書もお持ちください。

●自己負担限度額と食事標準負担額

	外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)	食事代(1食あたり)	
			過去12カ月の入院日数	90日までの入院
現役並み所得者	44,400円	80,100円+1%※注1 (44,400円) ※注2	260円	210円
一般	12,000円	44,400円	260円	160円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円	90日を超える入院	100円
低所得Ⅰ		15,000円	100円	

※注1 医療費が267,000円を超えたときは、超えた分の1%を加算

※注2 4回目以降の限度額

●療養病床に入院するときの、食費・居住費について

生活療養費として食費と居住費（高熱水費）を負担していただくことになります。

区分	生活療養費(食費+居住費1日320円)	
	入院時生活療養費(I)	入院時生活療養費(II)
現役並み所得者	1食460円	1食420円
一般	1食210円	
低所得Ⅱ	1食130円	
低所得Ⅰ②	1食100円(居住費0円)	
低所得Ⅰ①	1食100円(居住費0円)	

※入院時生活療養費(I)及び(II)については医療機関に確認してください。

低所得Ⅰ①の区分は、老齢福祉年金受給者、低所得Ⅰ②の区分は、それ以外の低所得Ⅰの方

お問い合わせ先

本 庁 健康保険課 国保老人保健係
 東市来支所 保健福祉課 国保老人保健係
 日吉支所 保健福祉課 国保老人保健係
 吹上支所 保健福祉課 国保老人保健係

TEL 273-2111 (内線1132)
 TEL 274-2111 (内線2133)
 TEL 292-2111 (内線3133)
 TEL 296-2111 (内線4133)

標準負担額差額支給

やむをえず、減額認定証の提示ができず、通常の費用を支払ったときは、申請に基づき差額を支給します。



「女性の心を一つに集め、笑顔の中で仲良く健康づくり」をテーマに吹上地域婦人ふれあい運動会が六月三十日、吹上浜公園体育館で行われました。主催は、吹上地域各種女性団体連絡協議会（有馬澄子会長）など。運動会は「日ごろ培ったウーマンパワーを発揮します」という力強い宣誓で開会。輪にボールを投げ入れる「女性の輪」や、ボールを背中の箱で受け止める「子守は上手」など、百五十人

ふじんがきばってあかるくげんき

婦人ふれあい運動会

の参加者は楽しみながら競いました。古新聞を利用した恒例の「フアッションショー」では、短時間でハニカミ王子や東国原知事など、時勢を反映した高度な作品が完成。審査員を悩ませました。「婦人が気張って明るく元気」。吹上にかけた来賓のあいさつどおり、女性の力みなぎる一日でした。



住民の生命と財産を守るために

消防団新入団員研修

六月三日、平成十八年六月から平成十九年六月までに入団した新入団員を対象に、平成十九年度市消防団新入団員研修が市消防本部で行われました。当日は新入団員十一人が参加。市消防本部追田次長から消防団の心得や消防団員の階級などの講習を受けた新団員は、引き続き行われた実技で消防訓練礼式の基本動作や応急担架の作り方、ホースの取り扱い方を学習。ホースを使用した放水では勢よく出る水の水圧を体感しました。研修を終えた新入団員。市民

工場新設で立地協定

ファクトリーヒロとエービーフーズ立地協定調印式



握手を交わすファクトリーヒロの中村洋史社長（左から二目）



握手を交わすエービーフーズシステムの清水学社長（中央）

伊集院地域の精密機械部品工業「ファクトリーヒロ」（中村洋史社長）と北九州市の食品卸売業「エービーフーズシステム」（清水学社長）が清藤工業団地（伊集院）に工場を新設する立地協定を締結し、六月十五日、市役所で調印式が行われました。



ホースの取り扱い方を学ぶ

の生命と財産を守る消防団員としての今後の活躍が期待されます。

防災は日ごろの備えから

吹上地域水防訓練

梅雨期を前に河川の決壊などを想定した水防訓練が六月三日、下与倉の朝追橋近くで行われました。訓練には吹上方面団員のほとんどが参加。折り返しや木流し、月の輪など、豪雨による河川の



はならんに対応する工法を、日置市消防本部の指導を受けながら訓練しました。早朝にも関わらず地域住民二十人が訓練を見守り、「心強いね」と話していました。

ウミガメは豊かな自然の象徴

ウミガメパトロール開始式

鹿児島県のウミガメ保護パトロール開始式が五月十九日、吹上中央公民館でありました。開始式には県内各地の保護団体代表など、六十人が出席しました。「パトロールは自然環境保護の大切な取り組みだ」と誇りを持ってください」と県環境保護課長が激励。各代表が委嘱状代わりの「監視員腕章」をかめまる君から手渡され、早速、パトロールへ出発しました。県に先駆けてウミガメ保護活動を行っていた旧吹上町。それを模範に制定された県ウミガメ保護条例も今年で二十年目を迎えます。



机の上では学べない体験

神村学園生がお年寄りと交流

六月十二日から十四日までの三日間、神村学園（いちき串木野市）看護学科二年生の生徒十五人が東市来高齢者クラブと交流を行いました。これは老年看護学実習の一環で、高齢者クラブの活動に参加し、体験を学習に生かそうと行われたもの。生徒は堀内、上市来、美山地区の活動に分かれて参加。それぞれラウンドゴルフや室内レクリエーション、調理などで交流を深めました。最初は緊張した様子で、ぎこちない会話も、次第に笑顔で話せるようになり、「気持ち的には私たちよりも元気に見えた」「高齢者やクラブの現状について理解できた」と生徒は充実した実習を振り返りました。



輪投げを楽しむ学園生とクラブ会員（美山）

ソフトボールで交流

職域対抗ソフトボール大会

五月八日、十九日、伊集院総合運動公園内多目的広場で職域対抗ソフトボール大会が行われました。地域内の学校や地域内に事業所を有する職場から十三チームが出場。熱戦が繰り広げられた多目的広場では、珍プレーや好プレーが続出するなどの盛り上がりを見せ、参加者はソフトボールを通じて職場内外の交流を図っていました。今年度優勝は伊集院高校。今年で三連覇を達成しました。



江口漁港

ヒラメ稚魚放流に大はしゃぎ

六月十九日、江口漁港沖（東市米）にて、伊作田小五・六年生三十一人、飯牟礼小五・六年生二十四人が三万七千三百匹のヒラメの稚魚放流を行いました。東市米地域外の小学生が参加するのは今回初めて。児童はライフジャケットを着用し、パケツに入った稚魚をリレーで船に運びます。出港すると岸壁で釣り人に手を振るなど大はしゃぎしていました。稚魚を放流した後、児童らは学習会に参加。江口漁村センターでの魚の取り方やきれいな海を守る大切さを学びました。

第二回きらめく農村・漁村祭が五月二十七日、入来浜（吹上）駐車場でありました。農村・漁村と都市の交流を通して地域の活性化を図ろうと、吹上地域の農業委員らで組織するきらめく農村の会（内村文弘会長）が主催。今年は漁港もある吹上地区で開催されました。衣福作家博多和宏さんのパッションショーや大衆演芸などのステージショーをはじめ、漁船の乗船や地引網など、地域ならではの体験プログラムでにぎわいました。



また、季節の海産物や農産物も軒を連ね、来場者がお目当ての産品を買い求めていました。

田植え体験



田植えシーズン。昔は近所の人や子どもたちも手伝って、皆で腰を曲げて手植えで苗を植える大変な作業でした。機械での田植えが主流となった現代。自然に親しみ、農業の大変さを学ぼうと、市内各地で田植え体験が行われました。



おいしいお米になあれ！

日新小田植え体験

六月二十二日、日新小学校の田植え行事がありました。児童たちは、裾や袖を捲り上げ、先生の合図で一本ずつ丁寧に植えていきます。低学年が苗の株分けに戸惑っていると、高学年がすぐに教えていました。また児童は、農家のご好意で機械植えにも挑戦しました。秋には、自分たちで植えたお米が田んぼいっぱい実ることでしょう。

自然に親しみながら、楽しく手植え

ふるさと学園田植え体験



六月二十二日、伊作田地区（東市米）の田んぼでふるさと学園（河野史代理事長）の利用者による田植え体験が行われました。これは、同学園の利用者が自然に親しむことでいい刺激を受け、食育を学ぶいい機会となるよう平成十年から毎年行っている行事。当日は、施設利用者約六十人と湯之元保育所の園児二十六人

市国際交流員の金信愛さんが参加。参加者は日ごろあまり入ることのない田んぼに足を取られながらも、楽しそうに手植えで苗を植えていきました。今回植えられたもち米は、同学園で毎年十二月上旬に行われる餅つき大会で使用。管理や収穫作業も利用者が参加して行う予定です。

親子で体験 農家の苦勞を実感

尾木場めだかの里米作り体験

六月二十四日、尾木場（東市米）の棚田で田植え体験がありました。

これは地元が実施している、箱苗作りから収穫まで一年を通じて米作りが体験できる「尾木場めだかの里米作り体験」の一環で、日置市内外から十組の家族が参加しました。

地元住民から昔ながらの手植えを習いましたが、慣れない作業で悪戦苦闘。

鹿児島市から参加した小学二

年生の郷田巨（わたる）君は「泥で足の自由が利きにくかった。自分で育てた米を食べるのが楽しみ」と農業の大変さを実感しつつも満足気でした。

棚田には、泥んこ姿になった子どもたちはしゃぐ声とそれを見守る大人たちの笑顔が広がっていました。

今後、草取り、生物調査、稲刈りや収穫祭が予定されています。



地域の協力で田植えを体験

伊作・花田・永吉小田植え体験

伊作、花田、永吉小（吹上）の児童らが地域の協力で田植えを体験しました。

伊作小は五、六年生が六月二十一日、今田のおよそ十二人の田に挑戦。慣れない泥に悲鳴を上げながら、今田水田保全協議会員の手ほどきを受けて植え付けました。百人が横一列になっ

ていっせいに植える様子は壮観でした。同協議会は、非農業者と農業者の交流事業として取り

組んだものです。

花田小と永吉小は六月二十六日、山神の郷公園近くの田で体験。永吉の一、四年生三十四人と花田の全校児童三十一人が、永吉ふれあい会の指導を受けながら苗を差し入れていました。こちらは経験者が多く「昨年よりますます植わった」と同会会員。

終了後、手作りの田植えダゴに舌鼓を打ちました。

▼心をひとつにして植え付けます



花田・永吉小

伊作小



青少年
芸術鑑賞
事業

芸術に触れ、豊かな感性を養う

五月二十九日、日吉地域内小中学校を対象にした鹿兒島交響楽団の演奏会が日吉老人福祉センターで行われました。これは、芸術に対する興味・関心を喚起し芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操を養うため、鹿兒島県文化振興財団と市教育委員会が主催する事業。当日はオーケストラ楽器による独奏やアンサンブル、日本の伝統楽器による演奏に児童、生徒たちは聞き入っていたようです。



自分たちのふるさと吹上浜に上陸するウミガメを通して、自然環境保護の心を育てようと六月二十九日、「かめさん祭り」が伊作小で開かれました。同小では祭りに向けて、ウミガメの生態や吹上浜の様子などを学年別にさまざまな学習活動に取り組みました。四年生は調べた成果を元にウミガメクイズを作成。「潜水時

間はどのくらい」「なぜ、砂浜に卵を産むか」などの三択問題に、全校児童が挑みました。そして、学級ごとに本町通りをパレード。亀になりきって自らの顔に彩色を施したり、亀のお面をついたり、「ゴミを捨てないように」「ウミガメを守ろう」と書いた大きなプラカードなどで、沿道に保護の大切さを訴えました。

伊作小かめさん祭り



女性の知恵・勇気・やる気で地域に貢献

第一回日吉地域婦人会連絡協議会・研修会

五月十七日、第一回日吉地域婦人会連絡協議会が日吉中央公民館ホールで行われました。この会は、女性の知恵と勇気とやる気で継続的な学習を進め、人とのつながりや共生の心を大切にしたい地域づくりを目的に開催しています。当日は地域内の女性四十人が参加。協議会の後、研修会が行われ、興倉恵子先生を講師にクラフト（かご作り）をしました。



「かご」は模様には反射材を取り入れた実用的なもの。参加者は黙々とクラフトに取り組み「手先を使い熱中します」と、自分だけの「かご」に満足していたようです。



八千代会

駅美化活動に感謝!

六月一日、JR湯之元駅（東市来）にて、八千代会（新川俊郎会長）会員二十五人が七時半よりボランティア美化活動を行いました。毎月一日に行うこの活動は、二十年近く続いており、清掃、草取り、植木の剪定、プランターへの花植え等行い、市民の足となっているJR駅を華やかにしています。この日に合わせてふるさと学園（湯田）の園生三名、指導員も参加していました。



▶人数が倍になった教室に元氣と笑顔があふれました

今日はクラスメートが二倍

和田・花田集合学習

日ごろ、複式学級で学んでいる和田、花田両小学校児童と一緒に学ぶ「集合学習」が六月二十日、和田小学校で行われました。集合学習は、小規模校の児童が多数の学習体験を通して、多様な考え方に触れ、学習への興味や意欲を高めることなどがねらい。この日、児童数二十七人の和田小に、三十三人の花田小児童が合流。出合いの式で、お互いの先生を覚えたり、ゲーム形式で自己紹介したりしました。二時間目からは、教室で学年別に授業。かねて総合学習などに使われる教室でも、それぞれの授業が行われました。花田小の九人が加わり十一人になった一年では、和田小の二人が圧倒されながらも、大きな声で発表し、にぎやかな笑顔がはじけていました。



洋風元病院が登録有形文化財に

旧黒木回春堂医院

国の登録有形文化財として、吹上町永吉の旧黒木回春堂医院が登録されることになりました。これは六月十五日、国の文化審議会が答申したことによるもので、鹿兒島県内から建造物三件が登録されます。旧黒木回春堂医院は昭和三年、英国人医師、ウィリアム・ウィリスに師事した黒木千代寿さんが建設、息子俊治さんが後を継ぎ、昭和五十三年まで診療が行われました。建物は、半切妻といわれる上半分が寄棟状の屋根や、部材に洋風の意匠を施した軒下の持送りなど、白色の外観と調和した造りが特徴です。時代を超えて息づく地域文化、次代に伝えていきたいものです。



私たちの住んでいる まちを知ろう!

妙円寺小
社会科見学



六月二十二日、妙円寺小学校の児童約八十人が飯牟礼FA工場（伊集院）を見学しました。これは同校の社会科見学のひとつで、自分たちの住んでいるまちを知ろうと行われているもの。当日は鹿兒島地域振興局とJAさつま日置の担当者が工場内を案内。班ごとに分かれた児童はお茶ができるまでの各工程の説明を聞きながら、機械などを見学しました。見学後の質問タイムでは児童が「出荷先は？」と質問。「鹿兒島県のお茶なので全国に出荷しています」との回答に児童はうなずいていました。

ギャラリー 私の作品展
『編み物』

鎌ヶ迫 スミ子さん(72歳) 日吉町日置

毎週月曜日、日新公民館で自主講座「手芸講座」を開講する鎌ヶ迫さん。以前から編み物をしてきた経験と地域の要望で平成11年から始まった講座には、現在8人の講座生が参加、鎌ヶ迫さんはその講師として活躍しています。「編み物は根気と手先の器用さが必要で、難しいところも多いですが、作品が完成した時の喜びは、制作に要した時間の分だけ大きくなります。講座生と会話をしながら楽しい時間を過ごしています」。講座では、初心者の方でも年間に3作品以上制作、毎年文化祭にも展示しています。




ウォッチまちの文化財 26
どひらかま 堂平窯跡 (東市来地域)

西回り自動車道美山インターの近くにあった薩摩焼の窯跡で、発掘調査が行われた後に美山陶遊館の近くに移設されました。先ごろ調査結果が公表され、薩摩焼の初期の窯であることが明確になり、新聞でも取り上げられました。

薩摩焼は、豊臣秀吉の朝鮮出兵(1592~1598)の際に島津義弘が朝鮮の陶工を連れ帰ったことから始まります。陶工たちは各地に散らばり、陶器作りを始めました。堂平窯は1600年代の前半に使われた窯です。堂平窯は幅約1.2m、長さ約30mで、煙突を横にしたような構造の細長い窯です。これは朝鮮半島で使われていた古い形で「朝鮮式単室傾斜登窯」と呼ばれています。

窯の近くで発掘された陶器の破片は朝鮮半島のものによく似ており、美山の初期の作風が分かる貴重な資料です。初期の窯跡と陶器がセットで発掘されたのは珍しく、薩摩焼の変遷を研究するうえで重要な遺跡になります。

〈引用参考文献〉『堂平窯跡発掘調査報告書』
鹿児島県立埋蔵文化財センター



Access
東市来支所から車で10分
(美山陶遊館近く)



わたしの将来の夢は小学三年生のときから決まっています。それは教師です。細かくいうと中学国語専



夢と野望がとげほー!

上市来中学校二年 福田 美優さん

門と小学校の先生です。なぜ教師になりたいと思ったかというと、小1のときの先生が影響しています。その先生はとても厳しくて二年生に対する態度とは思えませんでした。けれどわたしたちのことをとても大切にしてくれました。あのときは分からなかったけど今になってあのときから決まっていたなあと思います。その先生にはとても感謝しています。いつか改めて「ありがとう」って言いたいです。いつか今をがんばりたいです。いろいろなことをきっかけに教師になりたいと思うようになりました。絶対にかねえたい夢です。その夢を実現させるために今できることを精一杯してあのときががんばりたいよかったです。頑張りたいです。

いきいきひと シリーズ26



平成十七年十月にオープンした伊作えびす家。昭和三十年代の食堂を改装し、骨材には明治三十二年に建てられた伊作村役場の解体材を使用しています。店内には休憩所兼交流スペースのほか団子屋や喫茶店のチャレンジショップ、衣類や雑貨などの手づくり品が並ぶボックスマーケットなどがあり、昔懐かしい昭和の雰囲気が漂っています。この施設の館長も務める中間さんは、「オープンしてから一年九ヶ月、地域住民の協力で経営を続けています。厳しい運営資金で、どうしたら人が来てくれるか、魅力ある地域にできるか、会員と一緒に試行錯誤を繰り返しています」。地域住民と観光客の交流の場としての機能も持つ「まちの駅」えびす家。魅力あふれる地域づくりの拠点として発展してもらいたいです。

吹上地域商店街えびす通りで「花のなかま」を営む中間さん。平成十六年から通り会会長を務め、地域活性化に向けて様々な活動に取り組んでいます。年末年始に中原交差点から通りの街路樹を電飾で彩る「冬のイルミネーション活動」。毎年、会員が公民館に集まり、膨大な数の電球の点検から中原交差点のメインイルミネーションの電飾(翌年の干支)作成などを行います。話し合いをしながらの作業で時には飲みながら、「のみニケーション」の場が広がります。また、通り会では「祝日の国旗掲揚運動」を実施。この活動では、会員への通り会活動の周知や意識の高揚を図っています。「何事にもまず話し合いから。地域活性化には、会員の理解と協力が不可欠」と、地域に住む「人」を大切にしています。

会員の理解と協力で、魅力あふれる地域づくり



なかま しげはる
中間 重春さん(54歳)

吹上町中原(西本町自治会)
●昭和55年から「花のなかま」を運営。平成16年吹上町「えびす通り会」会長、平成17年「伊作えびす家」館長を務め、地域振興に貢献している。現在「えびす神社六月灯」の準備中。子どもみこしや抽選会が行われるこの祭りは、8月5日、えびす神社周辺で開催されます。

わんぱく直送便



畠中 雄也くん(6歳)
樹人くん(4歳4か月)

父 栄作さん 母 まゆみさん
(日吉町吉利)

■おかあさんから
家では走り回ってやんちゃですが、外では人見知りでシャイな二人。元気でたくましく、かしこく育ってね。



福丸 凜音ちゃん(8か月)

父 誠さん 母 律子さん
(日吉町日置)

■おかあさんから
ニコニコ笑ってくれます。スクスク成長してください。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。
市内に住む6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんの「コメント」
⑥広報へのご意見⑦連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は末ページでお送りください)。